

# コンピュータの基礎6

～

## アカウント

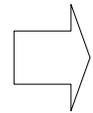
2020.03.14

雄藩日本門下生

スカピッピパパ (bscppmm@yahoo.co.jp)

# アカウント

コンピュータを使うためには、使う権利を持っている必要がある。



この権利のことをアカウントと言います。

事前に設定されたアカウントのユーザー名とパスワードを正しく入力すると、そのコンピュータを使用することが出来る。



# ここまでOSは何をしたか？

- 1、スイッチオンに従い、OSの実行を始める。
- 2、自分が持っているハードウェアの確認と初期設定

ディスプレイやキーボードはあるか？  
プリンタが繋がれているか？  
インターネットに接続できるか？

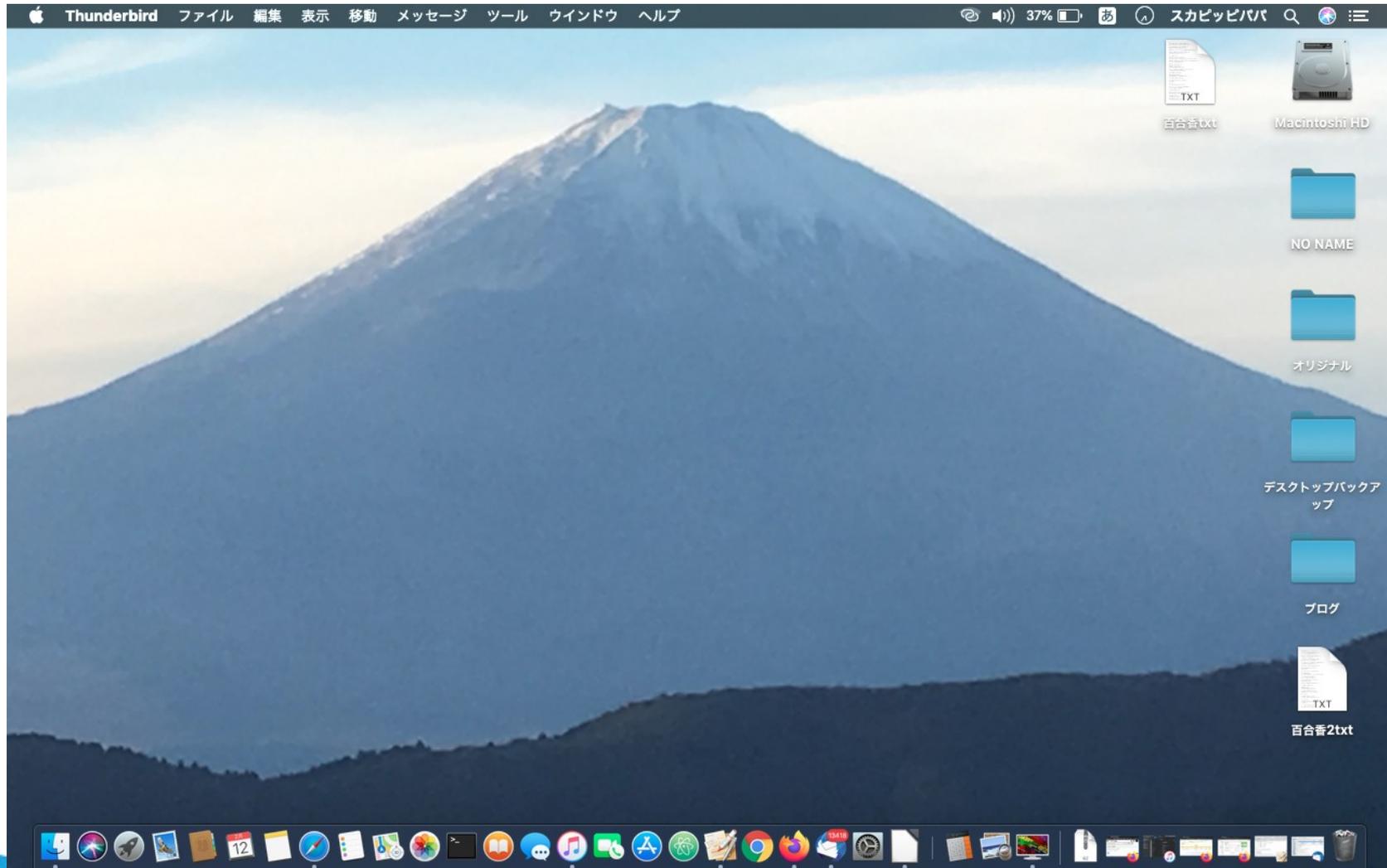
それが車載コンピュータなら、、、

ハンドルはあるか？  
タイヤがあるか？  
、、、

それが終わると、アカウントとパスワードの入力の**待ち状態**になる。  
この状態が先の図。

# ログイン

ここで正しいユーザー名とパスワードを入れると、  
そのユーザーの設定で画面を開く。



僕のはこんな、、、

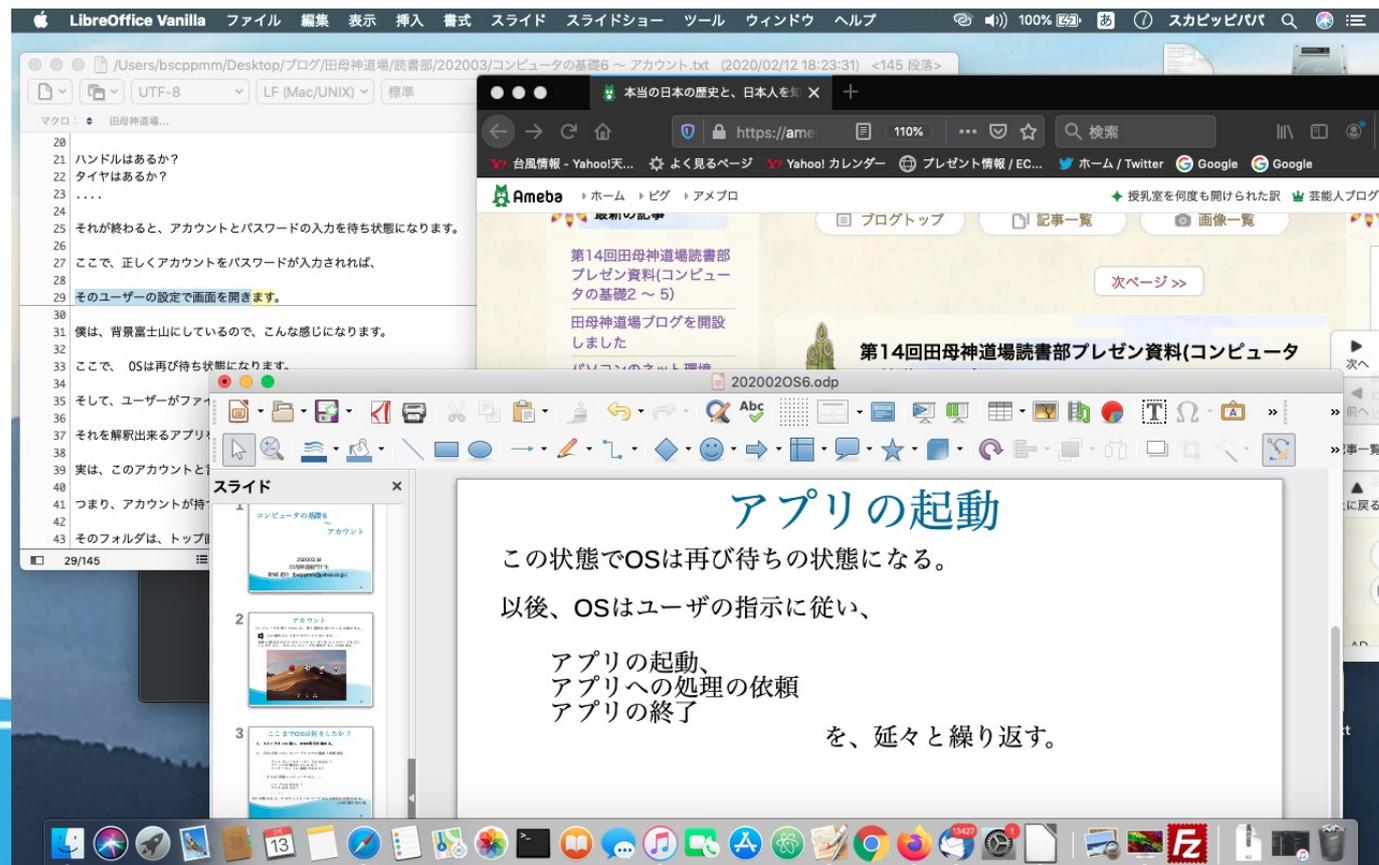
# アプリの起動

この状態でOSは再び待ちの状態になる。

以後、OSはユーザの指示に従い、

アプリの起動、  
アプリへの処理の依頼  
アプリの終了

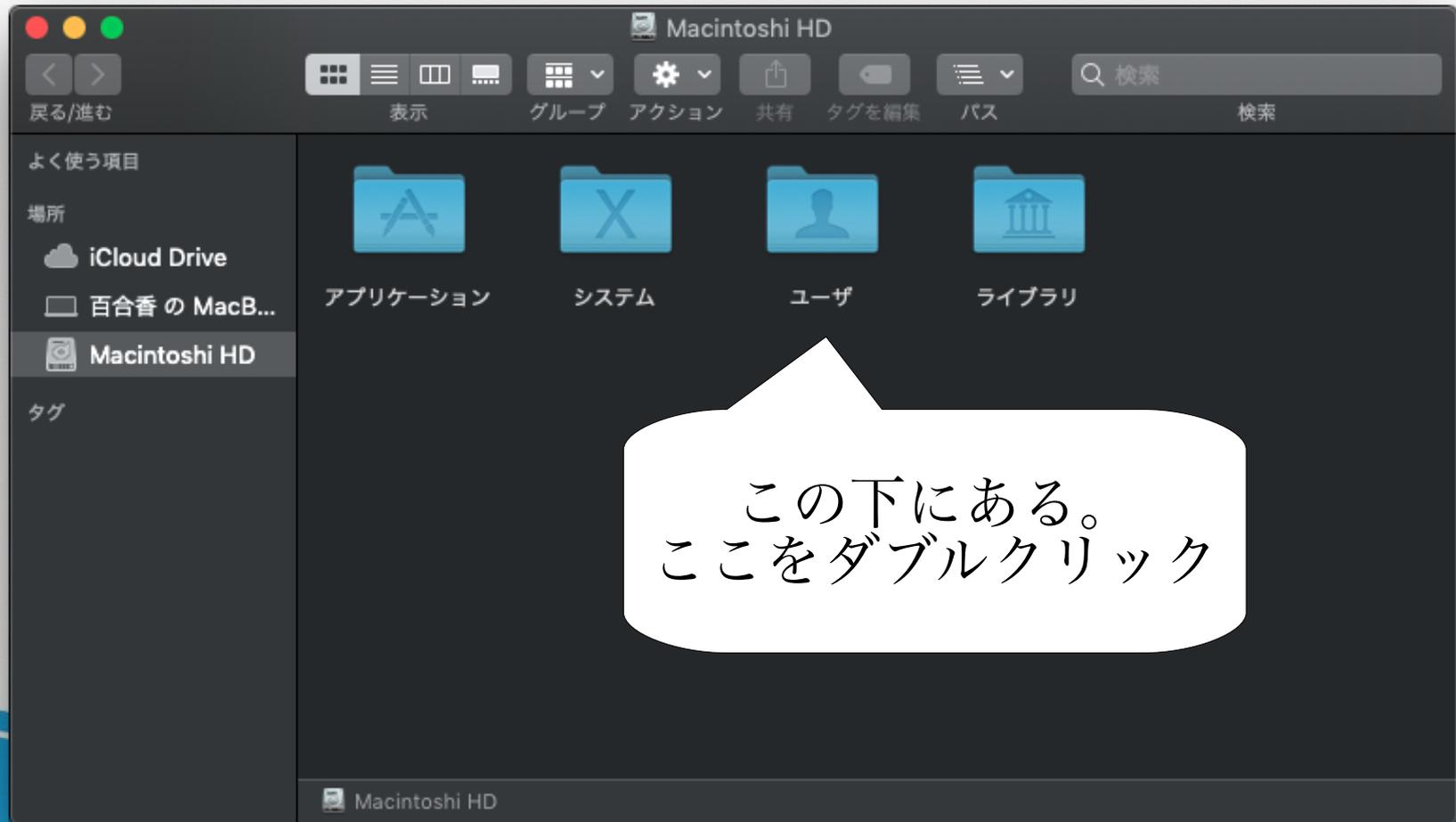
を、延々と繰り返す。



# アカウントとは？

アカウントとは、  
フォルダーの中に自由にファイルを作れる権利である。

アカウントを持つと、自由にできるフォルダーが提供される。  
それがあある場所が、”/ユーザ”の下、

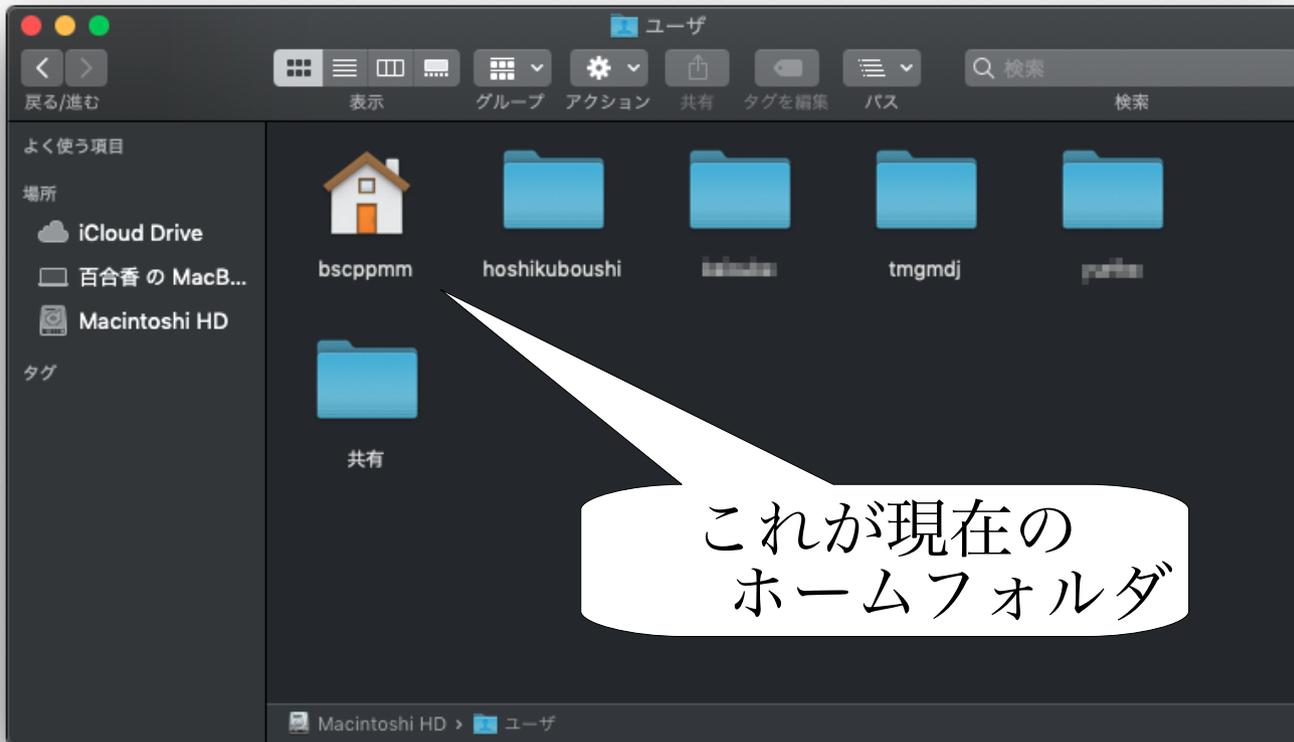


# ホームホルダ

僕のMACは、この下に  
"共有"以外に5個のフォルダがある。

その一個一個がアカウント  
に結びついている。

今現在使用している  
アカウントのフォルダー  
が、家マーク



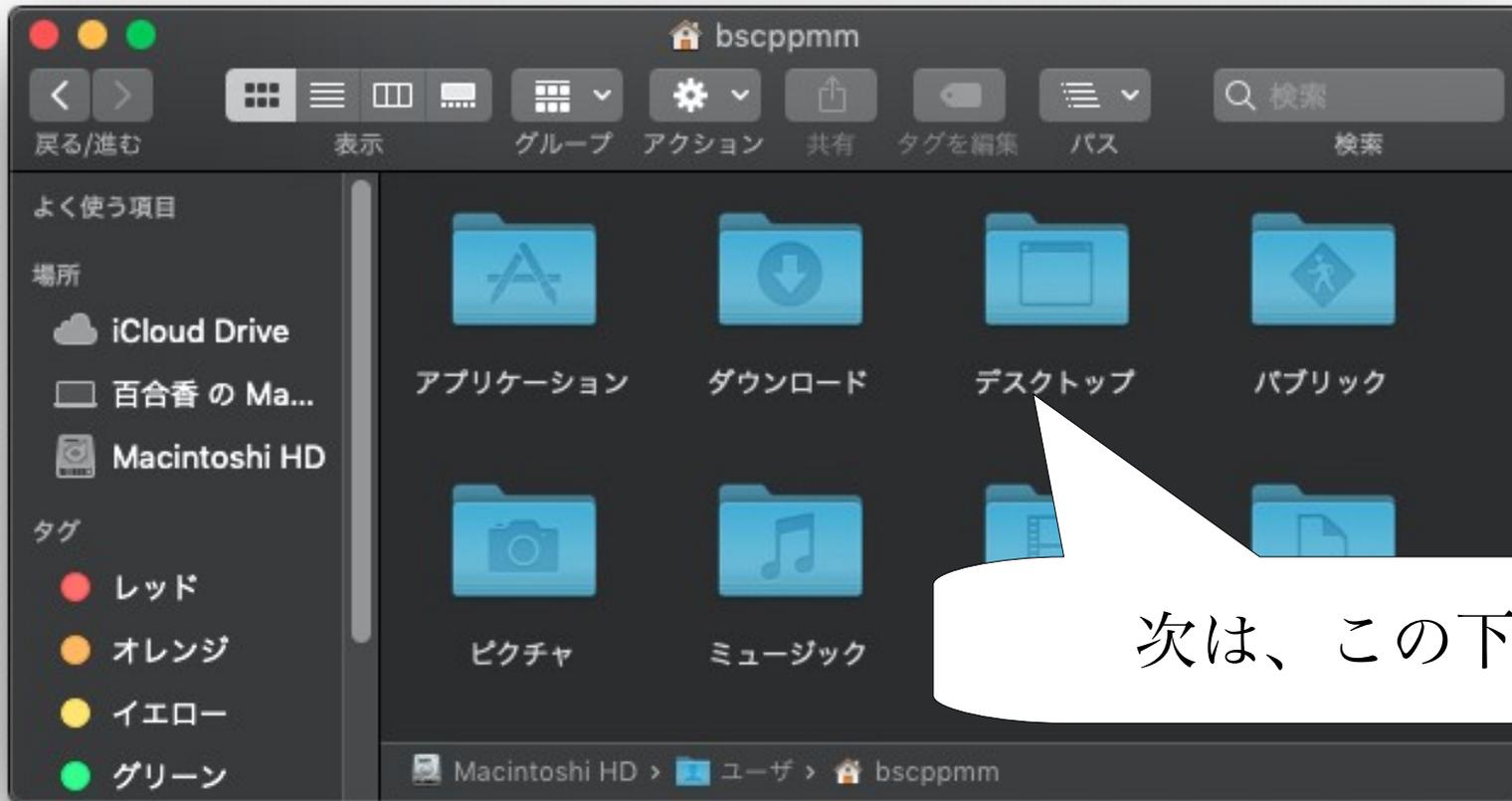
で、このアカウントは、

`/usr/bscppmm`

というフォルダの下に自由に  
ファイル、フォルダを作る権利を有すること。

これを、`bscppmm`アカウントのホームフォルダー  
(またはホームディレクトリ) という

# ホームホルダの直下



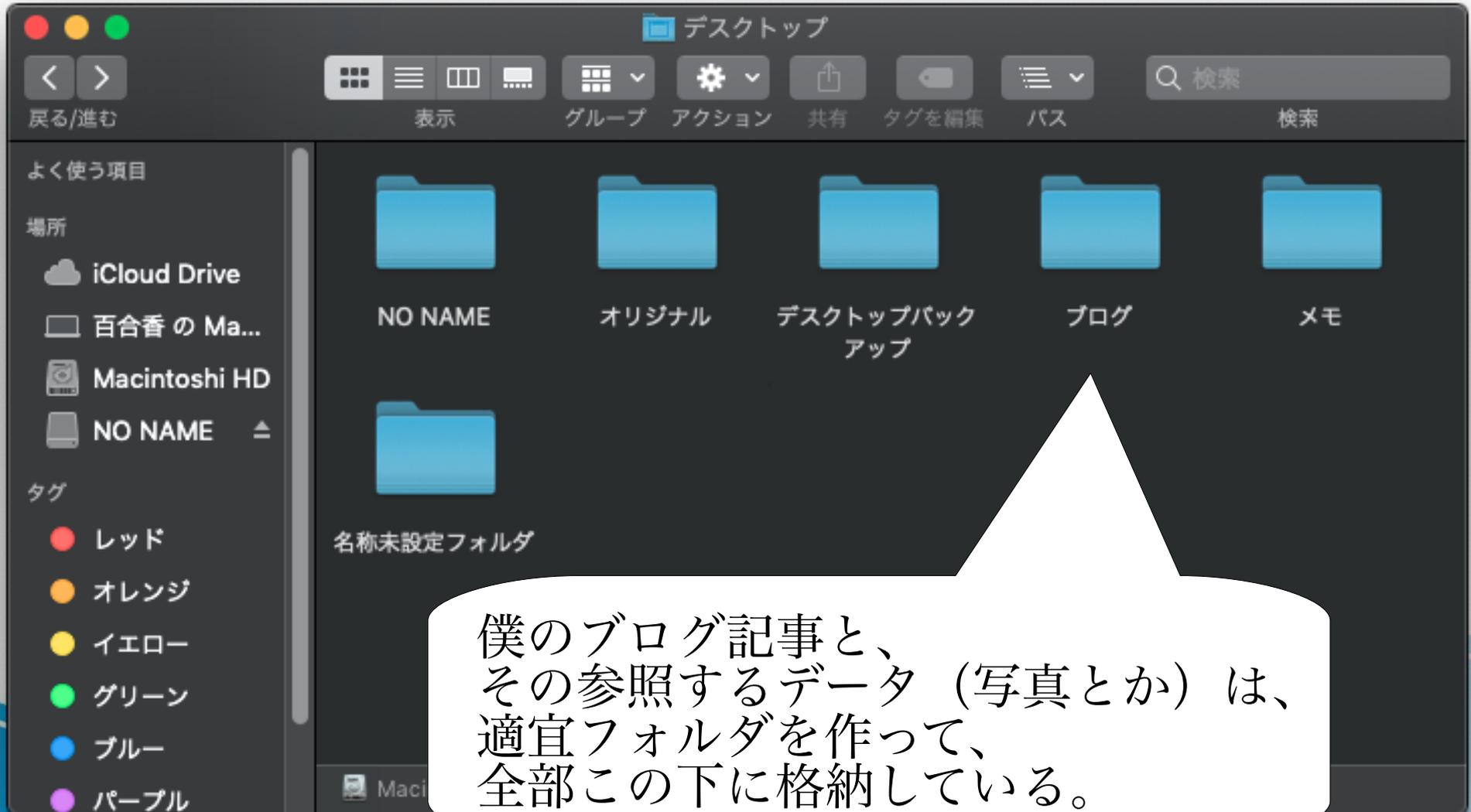
ホームフォルダーの直下には、上の6個のフォルダーがある。これはアカウント作成時にOSが自動的に作る。こんな感じで整理すれば良いのではないかというOSからの提案。

従うなら従えば良いし、無視するなら無視で全然構わない。

アプリによっては、自動的にここを使う、それをわかって使うべき。

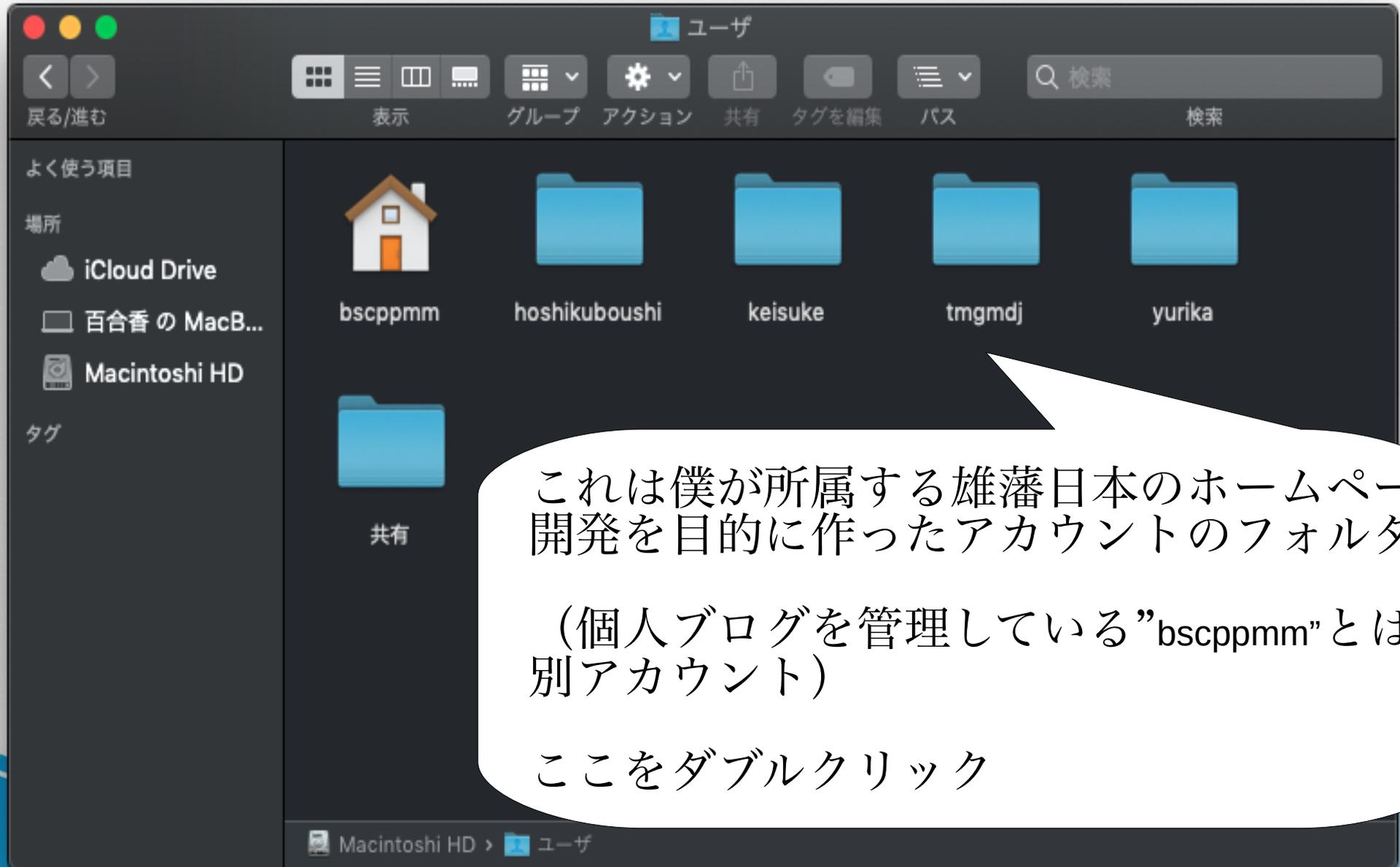
# デスクトップの下

通常は、この”デスクトップ”フォルダの下に、適宜フォルダを作って、整理しながら使っていく。

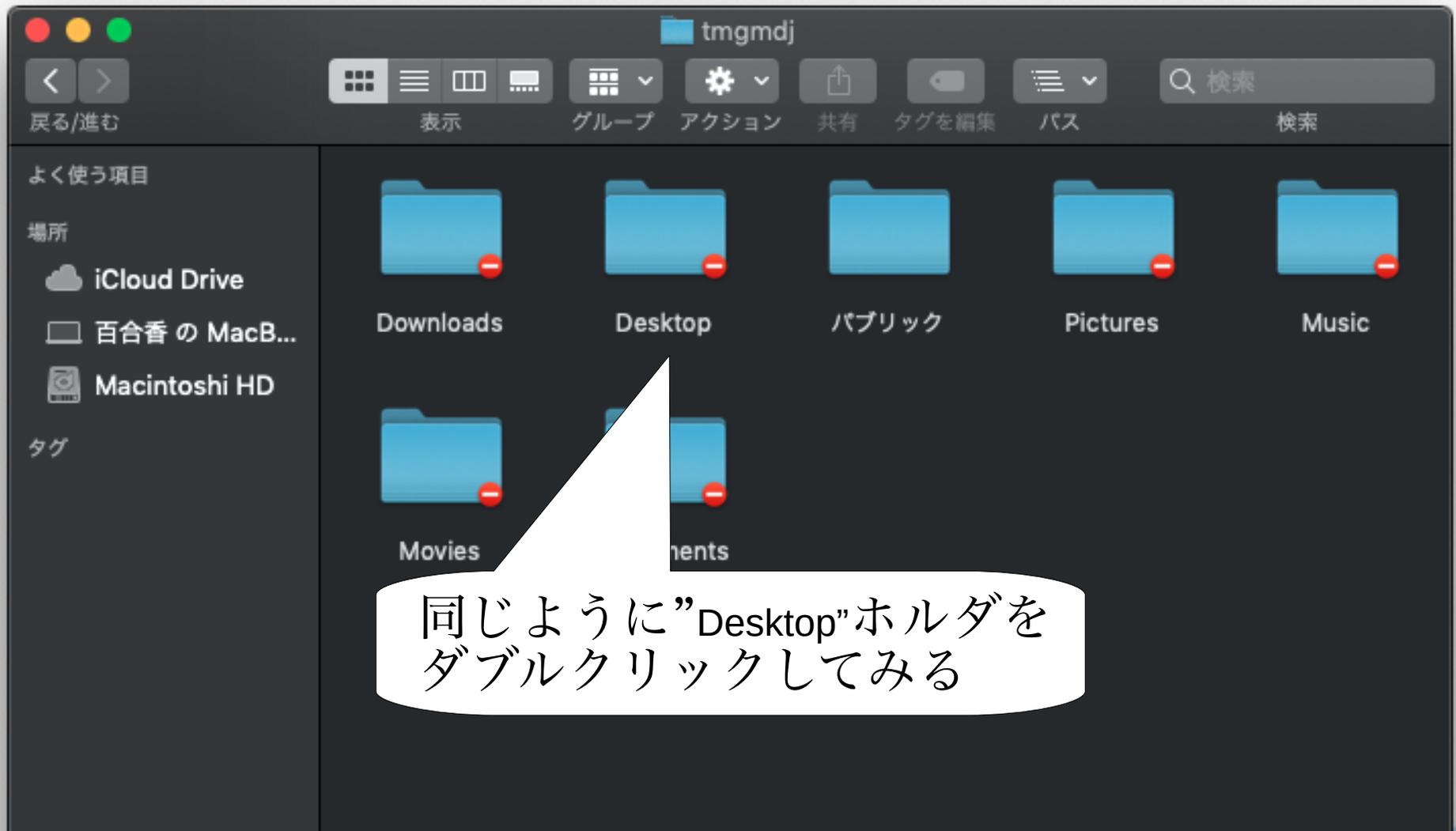


# 他のアカウントのフォルダ

もう一度”ユーザー”ホルダに戻ります。



# tmgmdjのホームフォルダ



\*注 iOSは自身の”Desktop”フォルダを、”デスクトップ”と読み替えているようです。なので、”デスクトップ”=”Desktop”と読み替えて構いません。

# ファイルのフルパス表現

全てのアカウントは、“Desktop”フォルダーを持ちます。  
トップから、置かれているフォルダーを省略なく書いた記述を

フルパス表現

と言います。つまりこのコンピュータには、

/ユーザ/bscppmm/Desktop

と

/ユーザ/tmgmdj/Desktop

ある。途中のフォルダが違いますから、これは違うものです。

”tmgmdj”フォルダーの下の”Desktop”フォルダーを開くため、

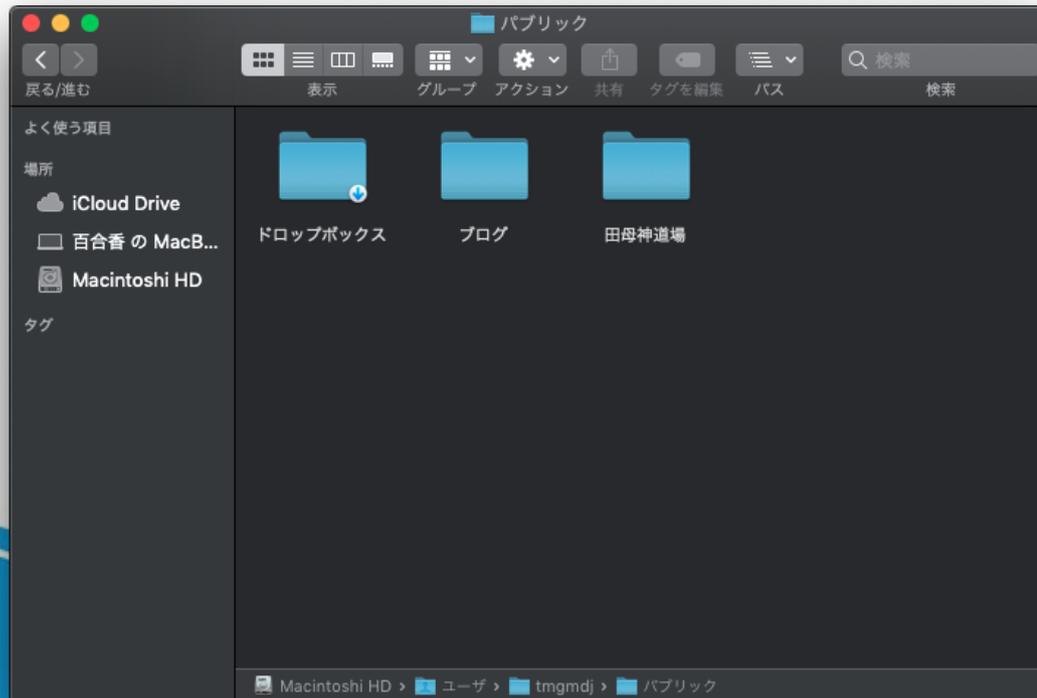
ダブルクリックをしてみます。

# 自分以外の”Desktop”は開けない



自分以外のアカウントの  
”Desktop”フォルダーは  
見ることができない。

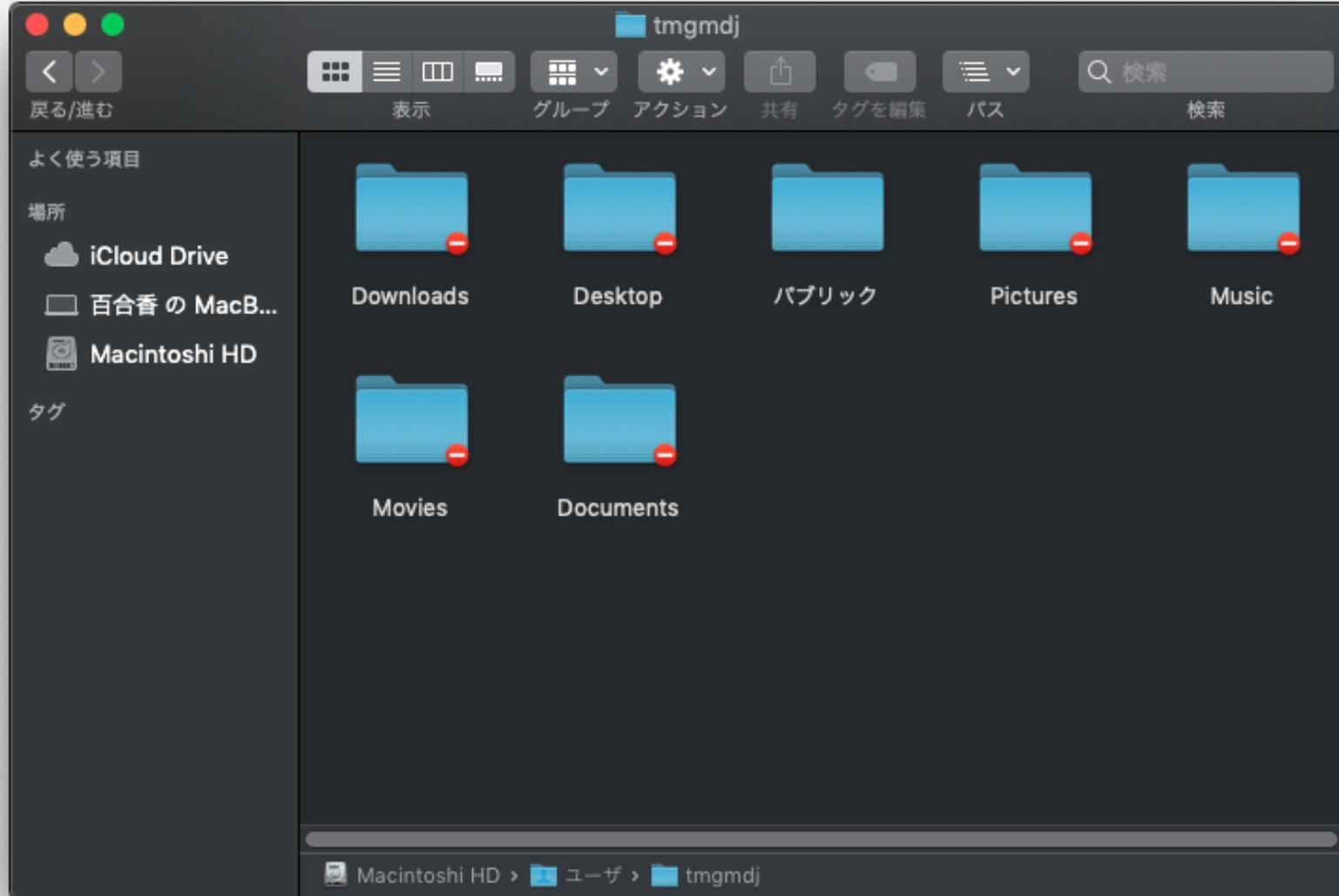
今度は”パブリック”フォルダーをダブルクリック



見れた！つまり、  
”パブリック”ホルダーの中  
は、みんな見れる。

他の人にも見てもらいたい  
ファイルは、”パブリック”  
フォルダーに入れば良い。

# 他の人のホームフォルダー

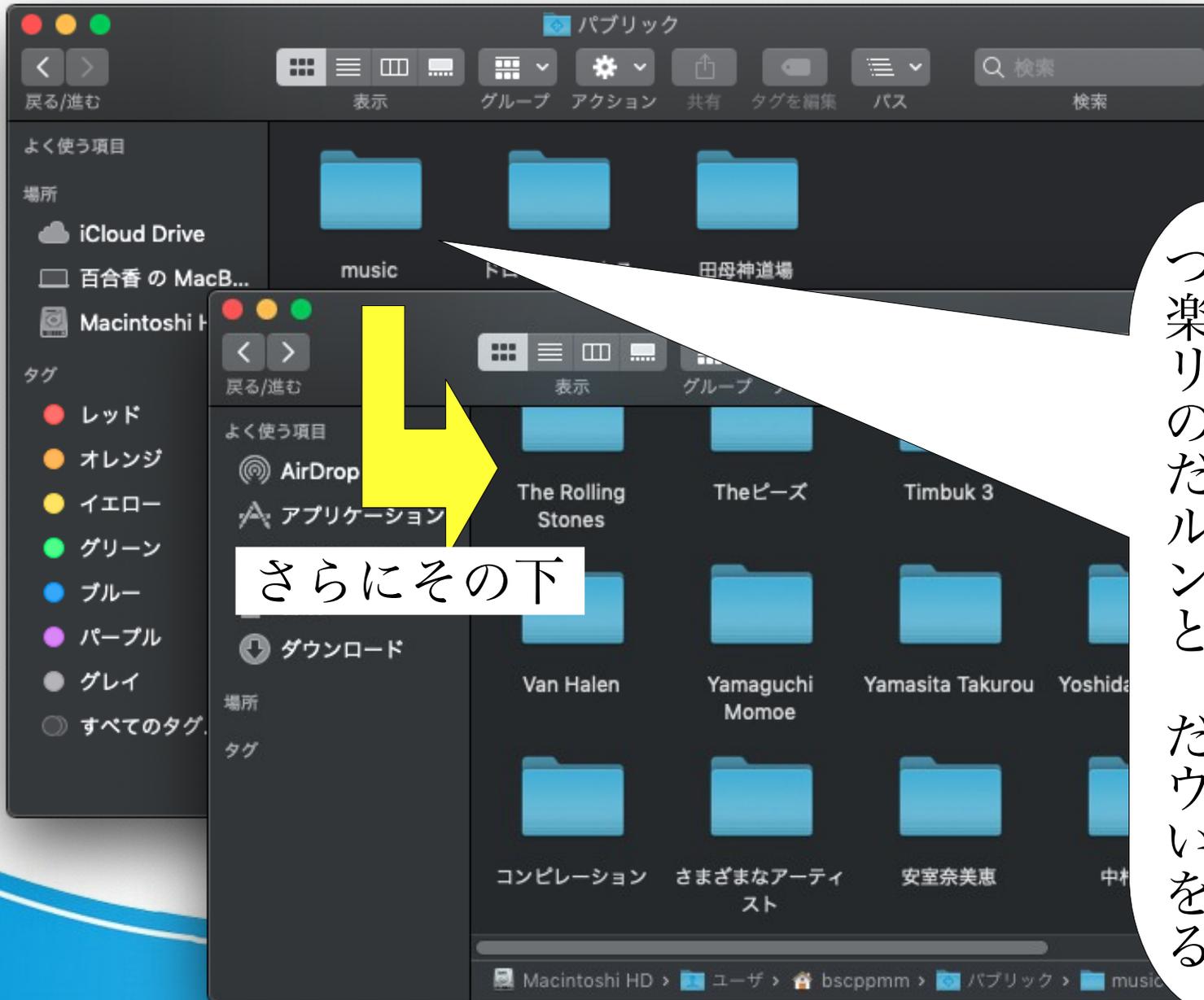


自分以外の人アカウントのフォルダーは、”パブリック”フォルダの中以外見ることが出来ない。

— が付いているフォルダーは見ることが出来ない。

# 自分の”パブリック”ホルダー

今度は、自分の”パブリック”ホルダを見てみる。



つまり、僕は音楽データを”パブリック”フォルダーの下に置いてある。だからこのファイルは、他のアカウントからも見ることが出来る。

だから、どのアカウントで作業していても、同じ音楽を聞くことが出来る。